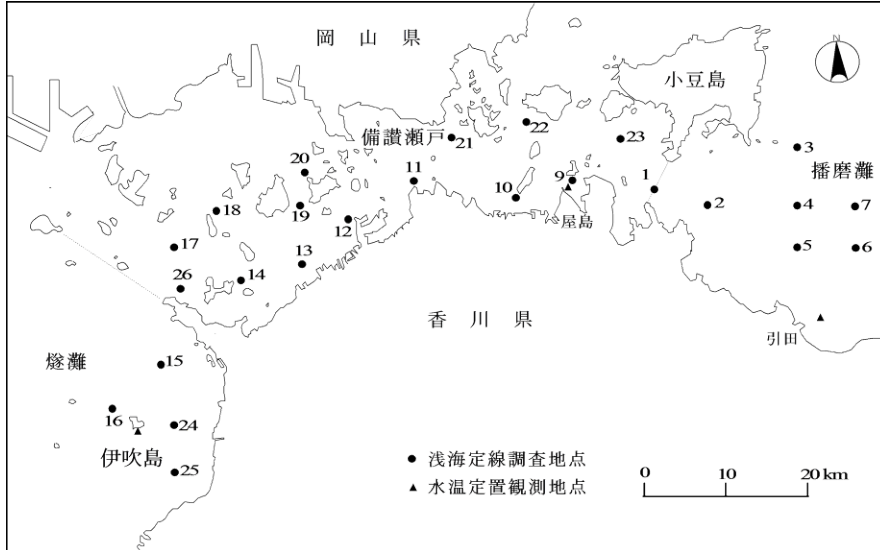


香川県漁海況情報 令和6年5月 (R6-2号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

令和6年4月30日（備讃瀬戸，燧灘），5月2日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「かなり高め」、塩分は「やや低め」から「平年並み」、透明度は「かなり低め」から「平年並み」、溶存酸素は「平年並み」から「著しく高め」であった。

5月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	15.3	14.6	12.8	31.8	31.8	32.1	9.9	6.21	5.66
	平年値	14.5	13.7	12.4	32.2	32.3	32.5	9.8	5.80	5.37
	平年偏差	0.8	0.9	0.4	-0.4	-0.4	-0.3	0.0	0.41	0.29
	標準偏差(σ)	0.8	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	2.8	0.32	0.38
	状況	やや高め	かなり高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや高め	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	15.5	15.3	15.2	31.9	31.9	32.0	6.1	6.23	6.07
	平年値	14.6	14.4	14.3	32.5	32.5	32.6	6.0	5.54	5.50
	平年偏差	0.9	0.9	0.9	-0.6	-0.6	-0.6	0.2	0.69	0.56
	標準偏差(σ)	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	1.9	0.40	0.37
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	かなり高め	かなり高め
燧灘	4地点平均値	18.3	14.3	13.1	32.3	32.7	33.0	6.6	6.90	4.89
	平年値	16.2	14.0	13.0	32.7	32.9	33.1	10.7	5.56	5.12
	平年偏差	2.1	0.3	0.1	-0.5	-0.2	-0.1	-4.1	1.34	-0.23
	標準偏差(σ)	1.1	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	2.9	0.34	0.79
	状況	かなり高め	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	かなり低め	著しく高め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

平成3年(1991)1月～令和2年(2020)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	$0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$	(σ : 標準偏差)
やや高め (やや低め)	$0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$	
かなり高め (かなり低め)	$1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$	
著しく高め (著しく低め)	$2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$	

3) 定置観測 (水温)

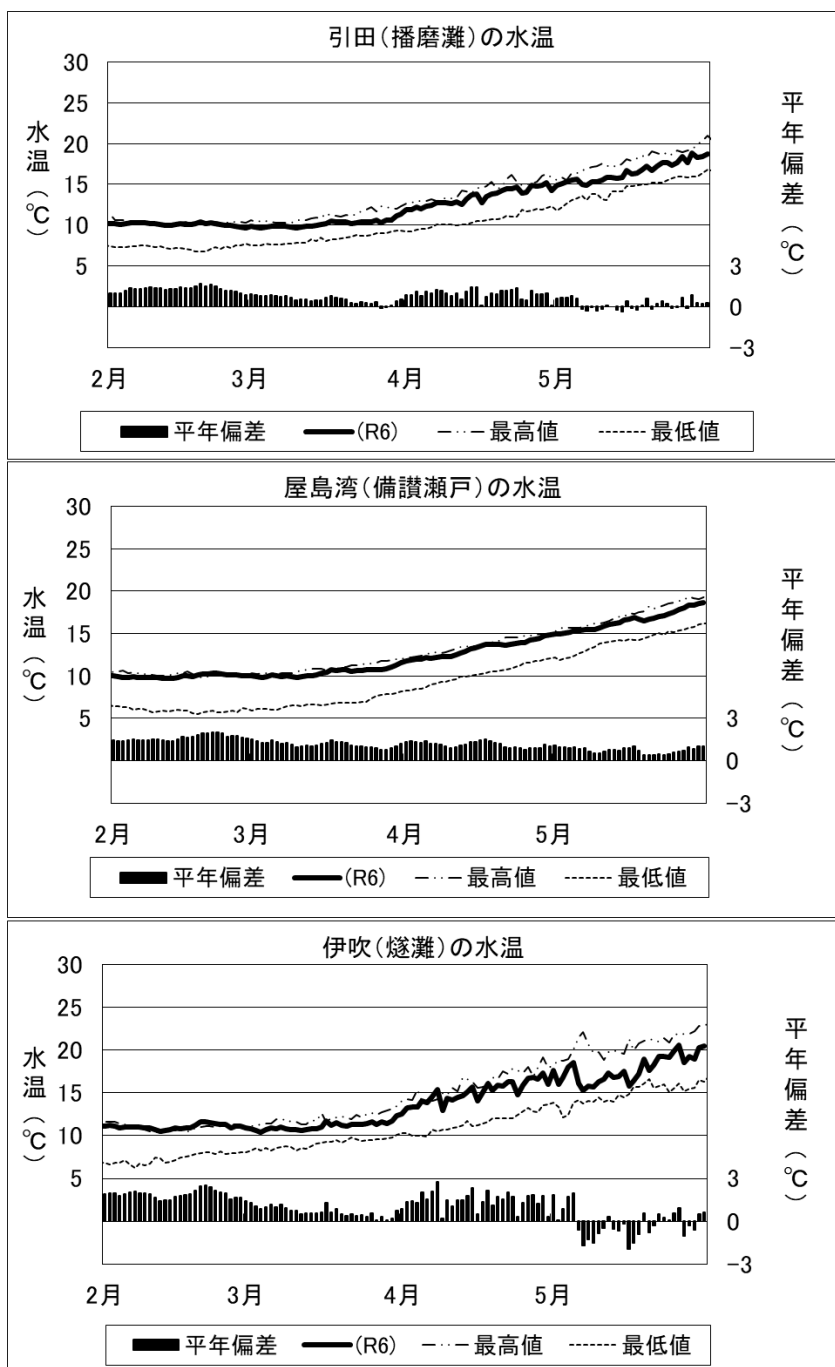
播磨灘 (引田) : 2月はかなり高めから著しく高めで推移し、例年最低水温を記録する時期に下げ止まった一方で、その後の水温上昇が遅れ、3月は平年並みの日もあった。その後変動しながら上昇し、4月は平年並みからかなり高めで推移した。5月は平年並みからやや高めであった。

備讃瀬戸 (屋島) : 2月はかなり高めから著しく高めで推移し、2月下旬には過去最高値となる日があった。3月からの水温上昇は緩やかで、やや高めからかなり高め、4月もやや高めからかなり高めで推移した。5月はやや高めの日が多かった。

燧灘 (伊吹) : 2月はかなり高めから著しく高めで、例年最低水温を記録する2月中下旬に過去最高値となる日が続いたものの、その後の水温上昇は緩やかであったため、3月はやや高めから平年並みの日が多かった。4月から5月は、著しく高めの日がある一方でかなり低めの日もあり、大きく変動しながら上昇していった。

※燧灘の水温は、平成31年4月1日から伊吹島地先で測定しているが、それ以前は大浜地先で測定していたことから、平年値の算出には両地先におけるデータを使用している。

平年値の算出期間 引田及び伊吹：平成元（1989）～令和5（2023）年
屋島：昭和50（1975）～令和5（2023）年



4) 赤潮 (5月1日～5月31日)

播磨灘：発生なし
備讃瀬戸：発生なし
燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：令和6年4月30日（備讃瀬戸，燧灘），5月2日（播磨灘）
出現量（個・尾／曳網）

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	159.5	8.3	0.0	0.0	19.1	1.0
	平年値	22.7	3.6	1.6	0.1		
	対平年(%)	701.7	231.8	0.0	0.0		
備讃瀬戸	平均値	5.1	1.2	0.0	0.0	60.8	1.2
	平年値	2.9	0.7	0.1	0.1		
	対平年(%)	177.8	176.0	0.0	0.0		
燧灘	平均値	82.4	7.4	0.0	0.0	8.3	0.6
	平年値	61.2	5.8	0.6	0.4		
	対平年(%)	134.8	128.1	0.0	0.0		
総平均	平均値	64.3	4.5	0.0	0.0	37.4	1.0
	平年値	21.8	2.6	0.6	0.2		
	対平年(%)	295.5	171.5	0.0	0.0		

—：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

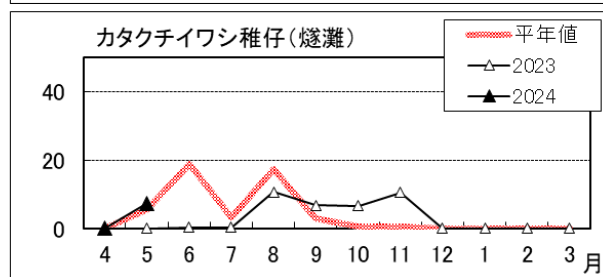
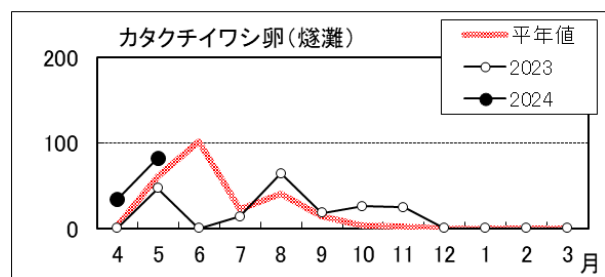
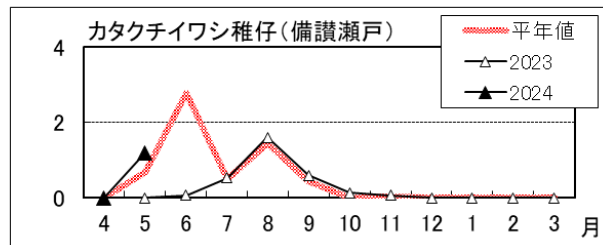
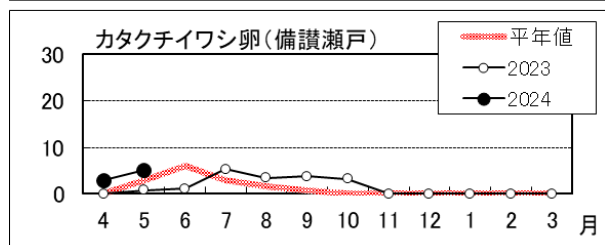
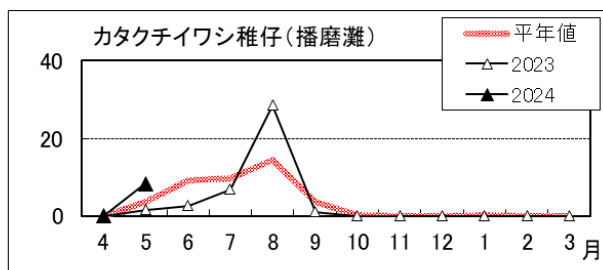
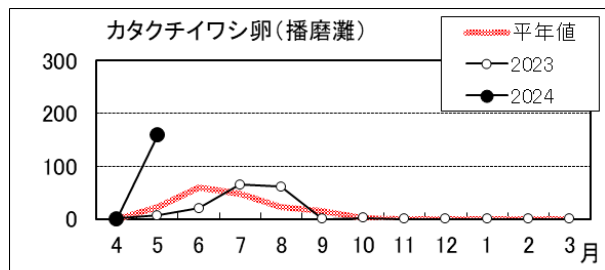
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～令和3（2021）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～令和3（2021）年度

*マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていない。

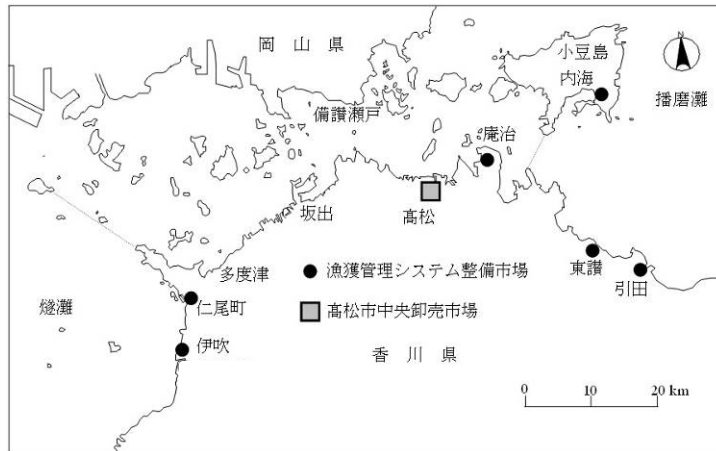
*イカナゴの卵は，沈性弱粘着卵のため，プランクトンネットではほとんど採集されない。












2. 漁況

1) 主要魚種の漁獲動向

次の地図に示す市場から収集した情報に基づいて漁獲動向を整理した。



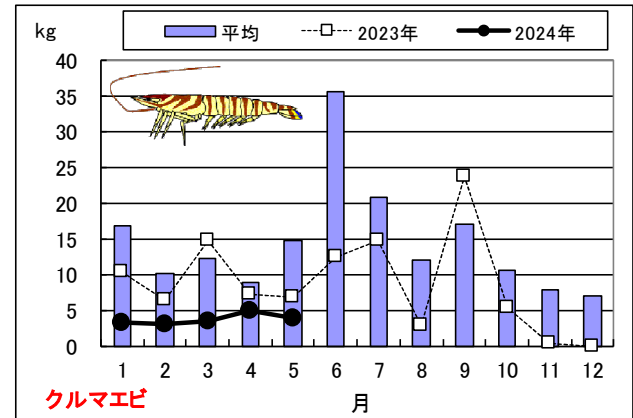
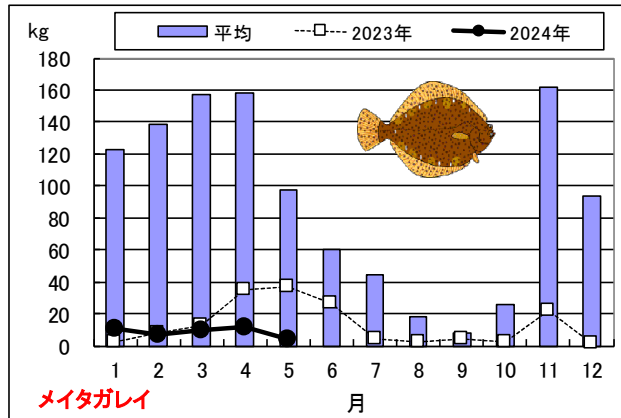
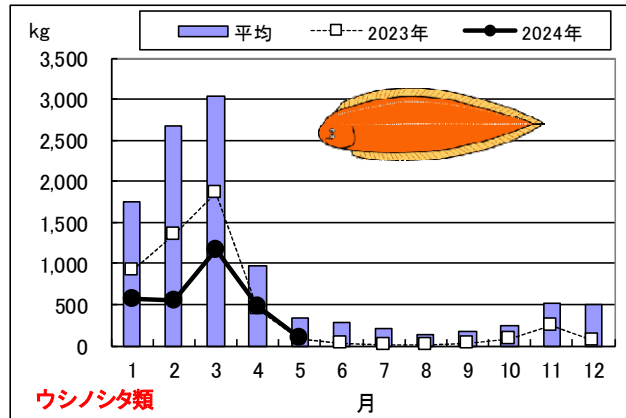
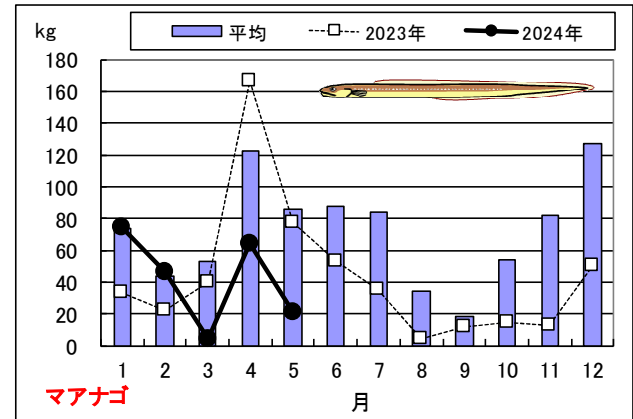
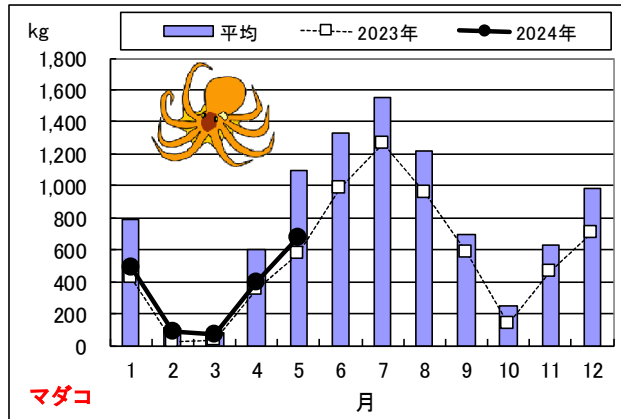
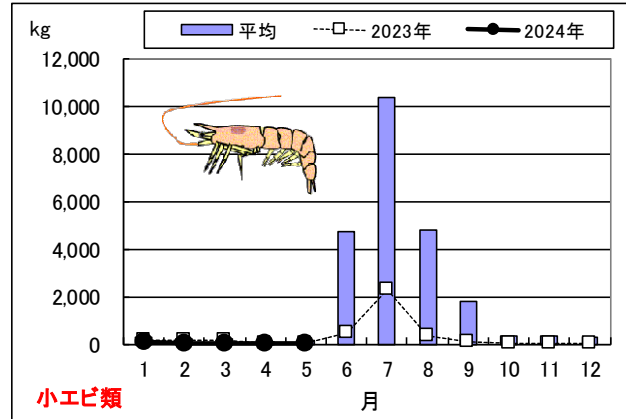
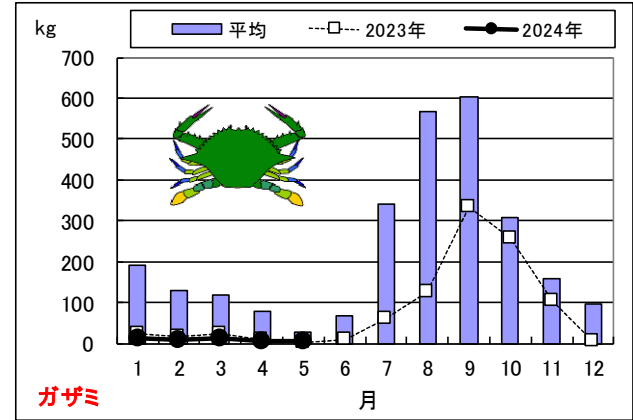
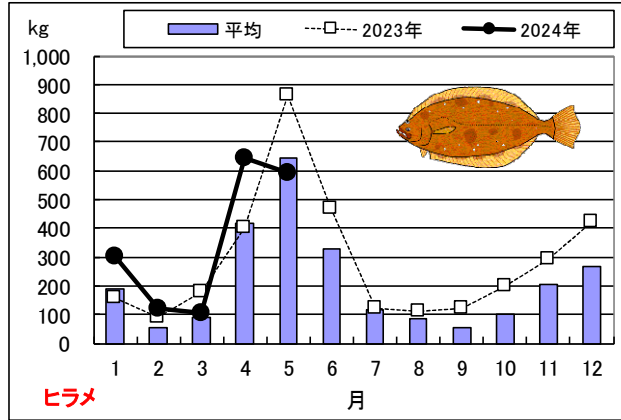
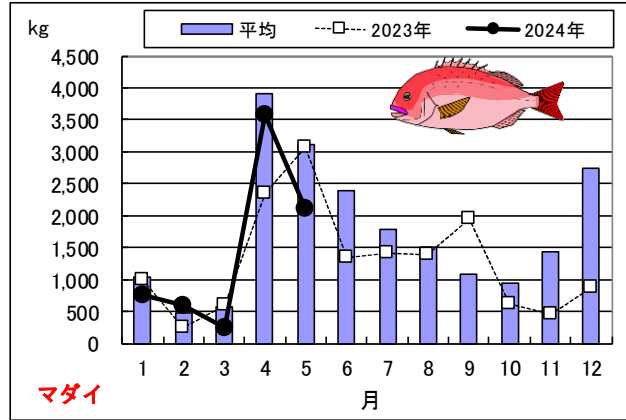
過去10ヶ年平均値と比較した海域別魚種別漁獲動向

令和6年5月の漁獲動向	播磨灘 (引田+東讃+内海)	備讃瀬戸 (庵治)	燧灘 (仁尾町+伊吹)
マダイ 	↓	—	—
ヒラメ 	—	—	—
ガザミ 	↓	↓	↑↑
小エビ類 	↓	↓	↓
マダコ 	↓	↓	↓
マアナゴ 	↓	↓	↓
ウシノシタ類 	↓	↓	↓
メイタガレイ 	↓	↓	↓
クルマエビ 	↓	↓	↓

過去10ヶ年平均値比	≥200%	200% > ≥160%	160% > ≥120%	120% > ≥80%	80% > ≥40%	40% > ≥0%
判定	著しく多い	かなり多い	多い	平年並み	少ない	かなり少ない
表示	↑↑	↑	↗	—	↓	↓↓

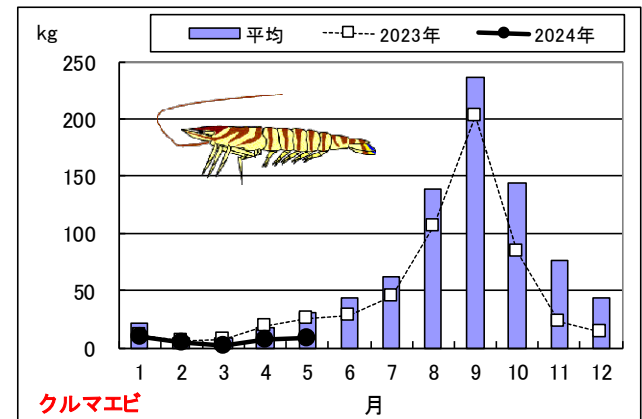
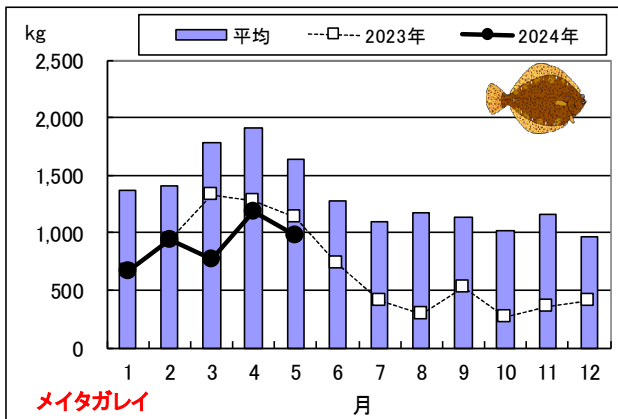
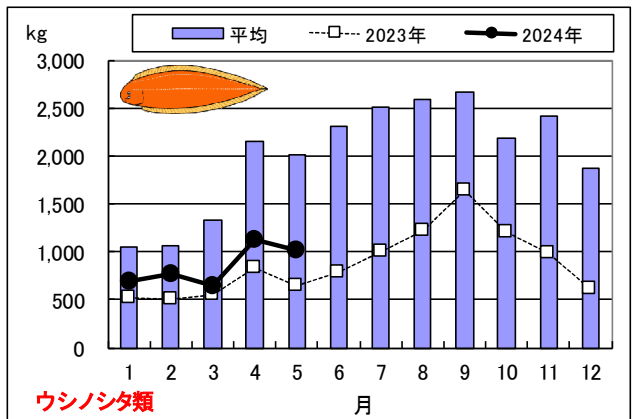
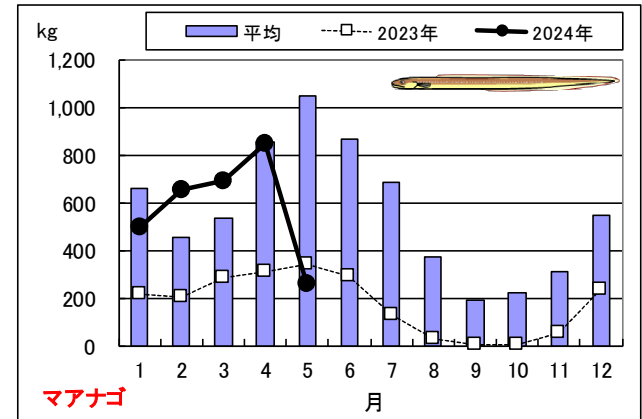
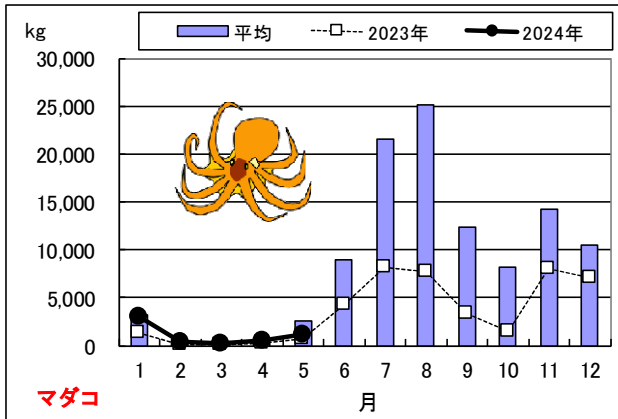
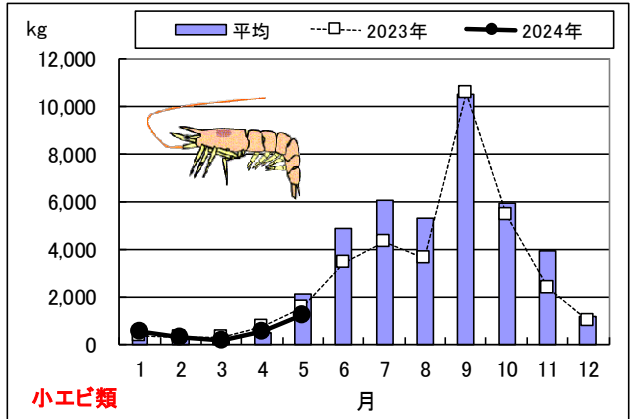
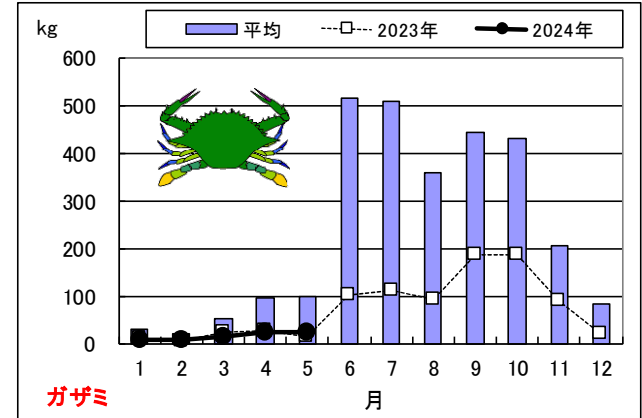
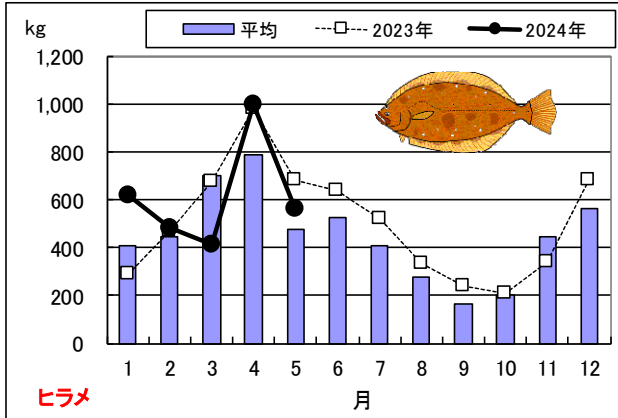
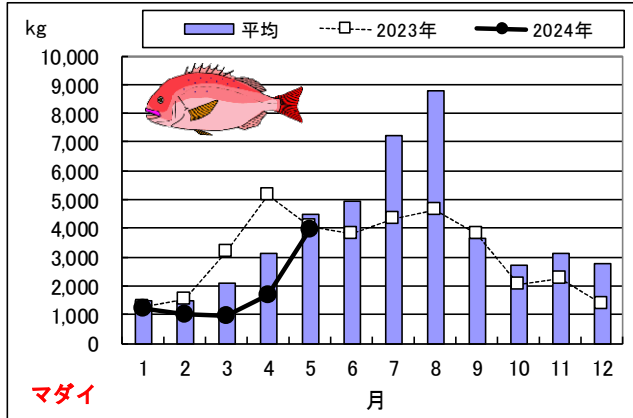
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2014年から2023年の10年間の平均。



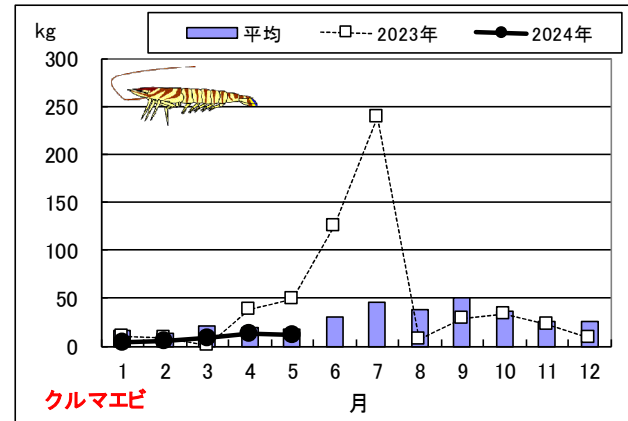
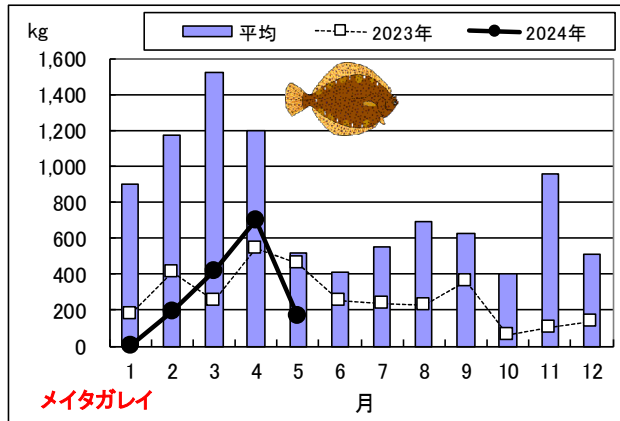
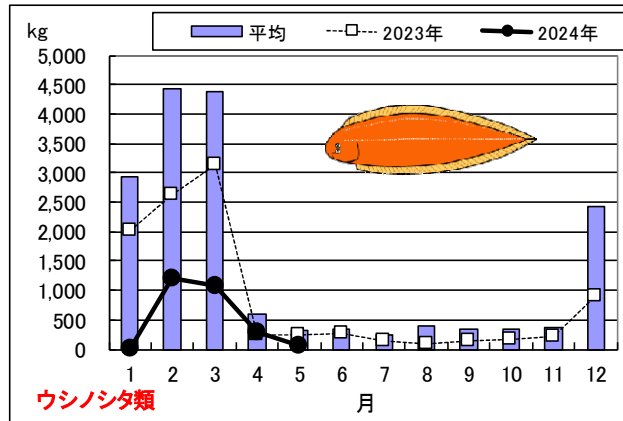
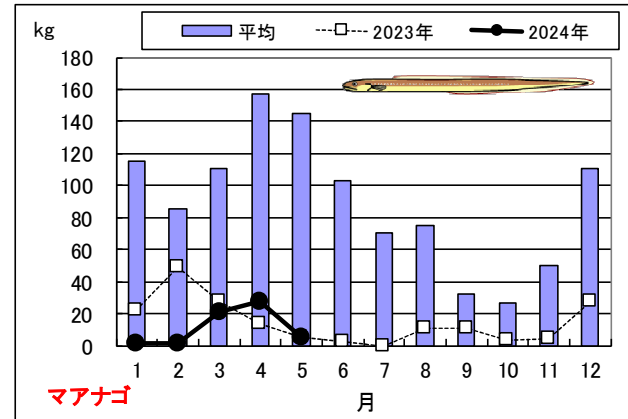
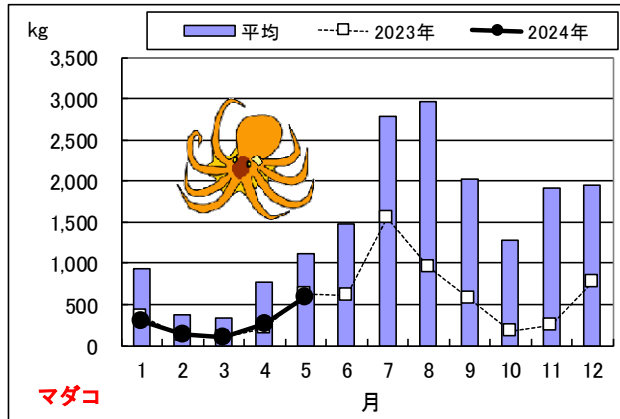
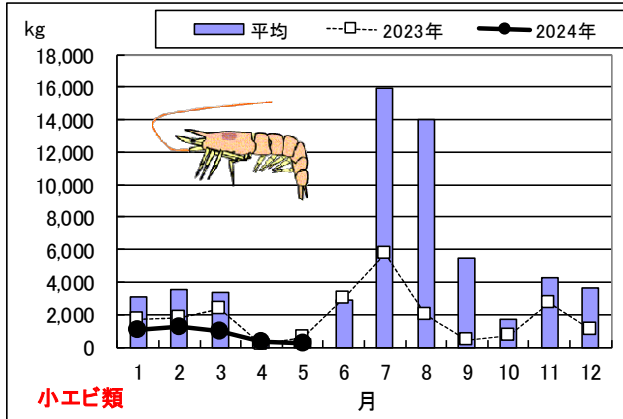
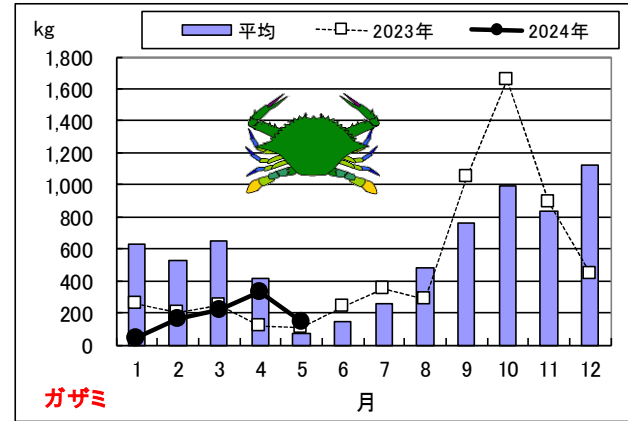
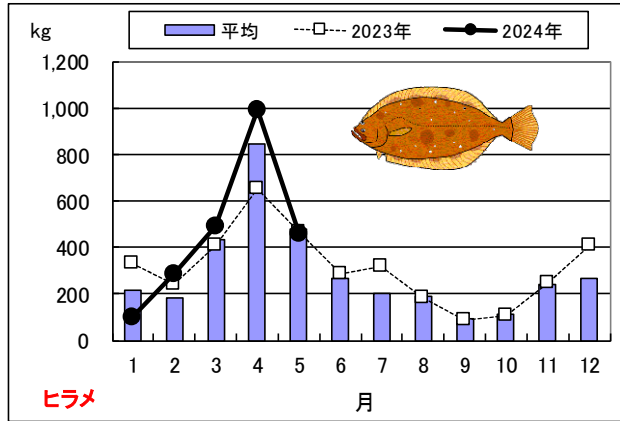
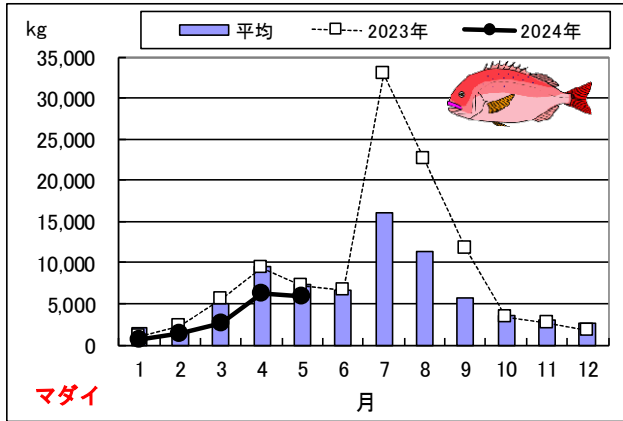
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2014年から2023年の10年間の平均。



燧灘（三豊市+伊吹） TACシステムデータより

平均値は、2014年から2023年の10年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

平均値は、2014年から2023年の10年間の平均。

